

## 第二次聖学院教育会議第4回会同開催

### 法人本部

8月4日（火）・5日（水）に行われた理事会合宿の初日、4日に第二次聖学院教育会議第4回会同が女子聖学院中高クロソンホールにおいて開催された。理事・評議員・教職員・PTA・後援会・同窓会など113名が参加し、昨年に引き続き「よみがえるミッション聖学院～教育指導の新しい取り組み～（その2）」を主題として議論が交わされた。

佐野正子聖学院大学政治経済学部チャプレンの司式・奨励による開会礼拝の後、柏木昭聖学院大学大学院教授による講演「こころ病む人にかかわる」が行われた。心の病を抱える人々が地域の中で生きていくために、専門家だけでなく、地域の人々が自発的に集まって互いに助け合う場を作っていくことが重要であると語られた。続くセッションⅠでは、「相談室から見た学生・生徒」と題して各校スクールカウンセラーから報告がなされ、セッションⅡでは各校代表者が「教育指導の新しい取り組み（実践報告）」を紹介、セッションⅢでは聖学院各校の園長・校長・学長から「各校マニフェスト」が発表された。

小倉義明聖学院長による総括の後、「第二次聖学院教育会議第4回会同宣言文」が出席者全員により採択され、中川寛聖学院中高チャプレンの司式



第二次聖学院教育会議第4回会同 当日の様子

で閉会祈祷会をささげてすべてのプログラムは終了した。（詳細は、9／25発行の第二次聖学院教育会議第4回会同報告書をご覧ください。）

## 第二次聖学院教育会議第4回会同宣言文

私たち聖学院教職員一同は、創立百周年を記念して、戦後日本社会が抱える人間の内面的問題を教育問題として取り組むことを聖約してまいりました。この内面的問題は、今や現代社会に異常な犯罪として現れているだけでなく、日本社会の人間の心の闇として重く広がっております。

私たちは、学生・生徒・児童・園児（以下「生徒たち」という）が負うすべての重荷をともに担うとともに、生徒たちに与えられている賜物を大きく豊かに生かすために、常に生徒たちを深く知り、新たに私たち自身を成長させ、恒常的な教育改革に取り組むことに努めます。

私たちは、この使命を神から託された召命と確信し、自らこの目的のために献身し、聖学院を聖約共同体として形成してまいります。

教職員のみならず保護者も同窓生もともに「聖学院教育憲章」に立ち、この課題を果たしていくことをとおして日本社会の根本問題と取り組むことを、本日の第二次聖学院教育会議第4回会同において、ここに聖約いたします。神よ、御導きあれ。

2009年8月4日

第二次聖学院教育会議第4回会同出席者一同